

第二次下野市総合計画策定に係る

各種基礎調査検討結果について

目 次

1. 市民意識調査の概要.....	1
2. 中学生・高校生アンケート調査の概要.....	5
3. 子ども未来プロジェクトの提案の概要.....	8
4. 市民懇談会の提案の概要.....	10
5. 関係団体懇談会の提案の概要.....	12

平成 27 年 5 月

1. 市民意識調査の概要 ※参考資料 9 を参照

【調査概要】

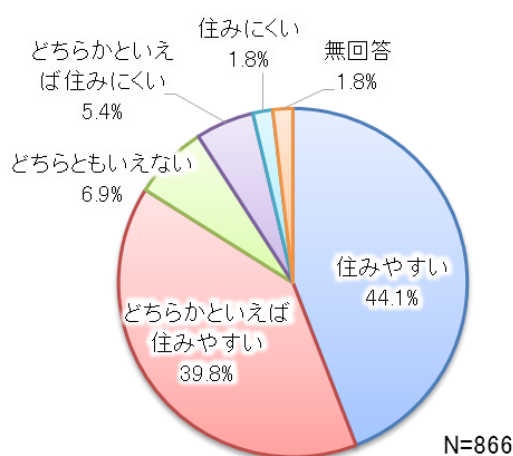
対 象	下野市内在住の 18 歳以上の市民 3,000 名
手 法	郵送配布・郵送回収
回 収 状 況	配布数 3,000 通、回収票数 866 通、回収率 28.9%
実 施 時 期	平成 26 年 8 月
調 査 項 目	<ul style="list-style-type: none">・回答者について・現在の下野市について・市（行政）の取り組みについて・「幸福感」について・まちづくりへの参加意向・将来の下野市について・自由意見

【調査結果】

○現在の下野市について

- 8 割以上の方が住みやすい・どちらかといえば住みやすいと回答しています。特に女性は男性よりも「住みやすい」という回答が多くなっています。
- 身近な生活環境について「病院・診療所などの医療サービスが充実している」、「自然災害に対して安全性が高い」、「林や川などの美しい自然環境が豊かである」と回答する方が多くなっています。
- 医療サービスの充実や、自然災害への安全性、自然環境の豊かさが、下野市の住みやすさにつながっているものと考えられます。

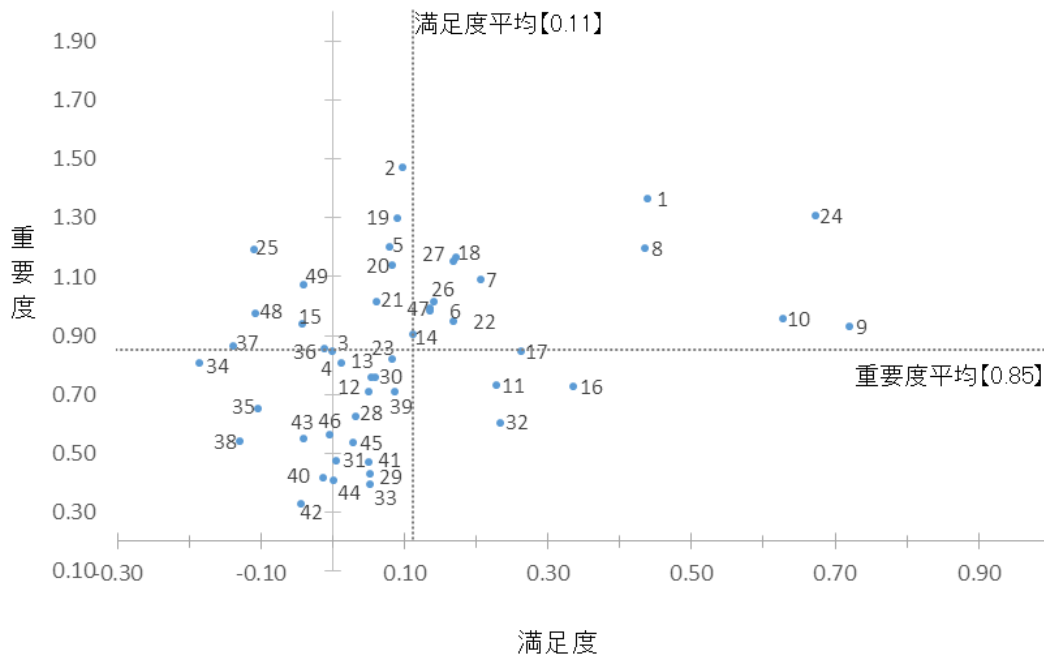
■「住みやすい」と思っている割合



○市（行政）の取組みについて

- 「上水道の整備」、「医療体制」、「下水道の整備」などで満足度が高く、「商業の振興」、「労働環境の充実」、「観光の振興」などで満足度が低くなっています。
- 「防犯（犯罪対策）」、「医療体制」、「消防・防災」などで重要度が高くなっています。
- まちづくり全体への満足度については、約3割が「満足」、「やや満足」、約半数が「普通」と回答しています。
- 上下水道の整備や医療体制など、満足度の高い項目のサービスを維持するとともに、商業の振興などの産業関連施策の満足度の向上を図ること、防犯や防災などの安全・安心のための施策に重点的に取り組んでいくことが求められているものと考えられます。

■市政への満足度と重要度の関係



1. 消防・防災	2. 防犯（犯罪対策）	3. 消費者保護の取組
4. 定住促進のための住宅対策	5. 交通安全対策	6. 公害対策
7. 環境対策	8. ごみ処理・リサイクル	9. 上水道の整備
10. 下水道の整備	11. まちなみ景観	12. 土地利用における秩序の確保
13. 市街地整備	14. 道路整備	15. 公共交通の整備
16. 公園・緑地の整備	17. 自然環境保全	18. 児童福祉
19. 高齢者福祉	20. 障がい者福祉	21. 地域福祉
22. 健康づくりへの取組	23. 健康づくり施設の充実	24. 医療体制
25. 保険・年金	26. 幼児教育	27. 小中学校の教
28. 社会教育・文化的活動を行う機会	29. スポーツ・レクリエーションの機会	30. 青少年の健全育成
31. 文化・芸術活動の促進	32. 文化遺産の保存や活用	33. 地域間交流・国際交流
34. 商業の振興	35. 工業の振興	36. 農業の振興
37. 労働環境の充実	38. 観光の振興	39. 行政の情報を知る機会
40. まちづくり活動に参加する機会	41. 自治会・コミュニティの充実	42. NPO 団体や市民ボランティアの登録促進
43. 地域における組織と人材の育成	44. 男女共同参画の取組	45. 人権尊重と平和意識の高揚
46. 他市町村との連携	47. 市役所の窓口サービス	48. 市の仕事の効率性
49. 市の財政運営		

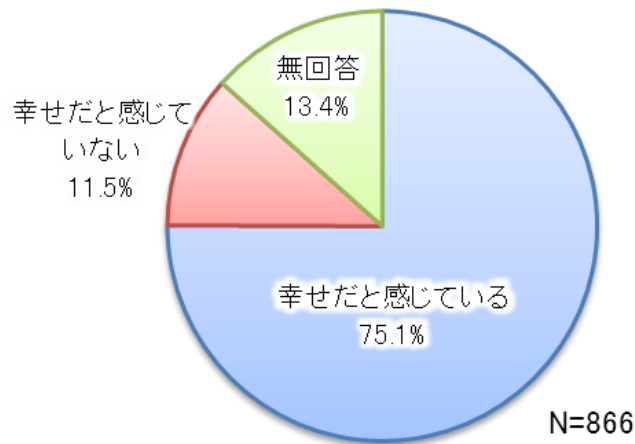
※重要度 = 「重要」回答数×2+「やや重要」回答数×1+「あまり重要でない」回答数×(-1) + 「重要でない」回答数×(-2)

満足度 = 「満足」回答数×2+「やや満足」回答数×1+「やや不満」回答数×(-1) + 「不満」回答数×(-2)

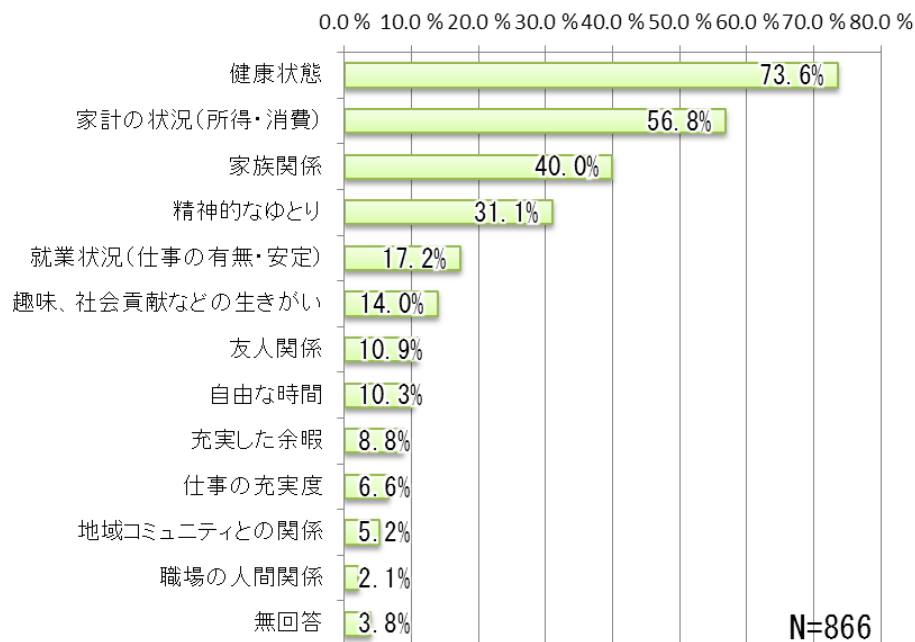
○「幸福感」について

- 7割以上の方が「幸せだと感じている」と回答しています。特に女性は男性よりも「幸せだと感じている」という回答が多くなっています。
- 幸せであるためには「健康状態」、「家計の状況（所得・消費）」、「家族関係」が重要であると回答されています。

■「幸せ」と感じている割合



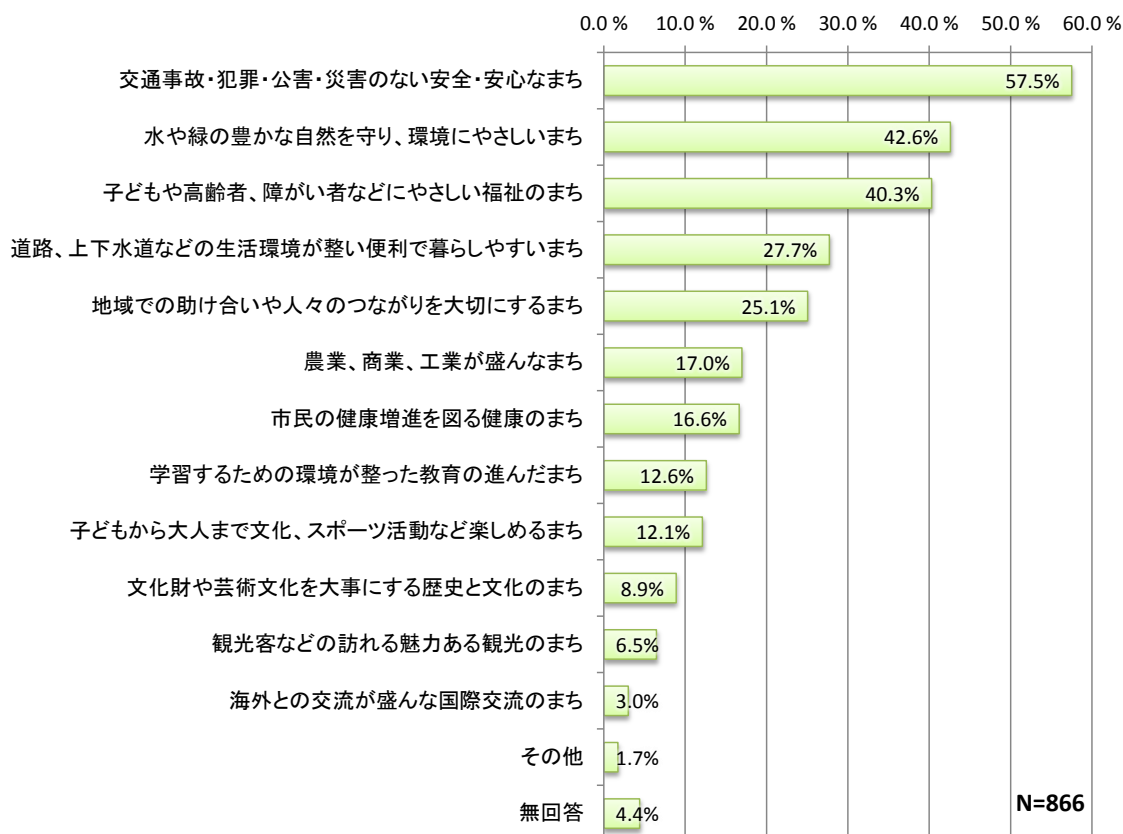
■「幸せ」であるために重要だと思うこと



○将来の下野市について

- 下野市が今後10年間のまちづくりでどのようなまちになってほしいかという設問に対して、「交通事故・犯罪・公害・災害のない安全・安心なまち」、「水や緑の豊かな自然を守り、環境にやさしいまち」、「子どもや高齢者、障がい者などにやさしい福祉のまち」などが挙げられています。
- 下野市が人や企業から選ばれるために必要なこととして、医療・子育て支援の充実や雇用創出、市民協働、魅力創造・発信や都市基盤の整備などに関する意見が挙げられています。

■下野市の将来像



2. 中学生・高校生アンケート調査の概要 ※参考資料 10 を参照

【調査概要】

対 象	中学生…下野市立石橋中学校、下野市立国分寺中学校、下野市立南河内中学校、下野市立南河内第二中学校に在学する 580 名 高校生…栃木県立小山北桜高等学校、栃木県立石橋高等学校に在学する 408 名 ※実施対象は第 2 学年
手 法	学級ごとに教室にて配布・回収
実 施 時 期	平成 26 年 7 月
調 査 項 目	<ul style="list-style-type: none"> ・回答者について ・まちづくりへの関心 ・下野市に感じていること ・下野市の将来像 ・下野市への居住意向

【調査結果】

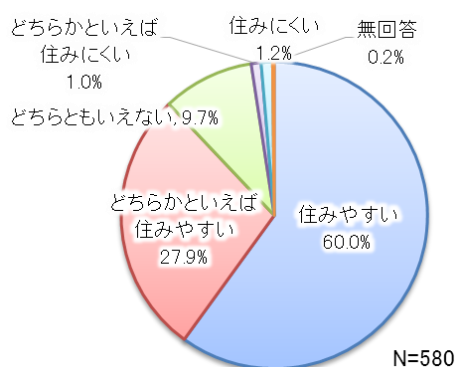
○まちづくりへの関心

- 下野市で行われている活動への参加意向は、中学生・高校生ともに、最も多いのは「身近な地域でのお祭り」、次いで「体育スポーツ活動や健康づくりに関する活動」、「自然をまもる活動」や「市をきれいにする(清掃・あきかん拾いなど)活動」などの環境分野の活動が多くなっています。

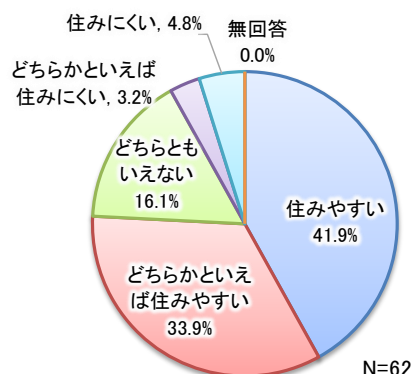
○下野市に感じていること

- 市内に居住する中学生・高校生の愛着や住みやすさに対する意向は高くなっており、特に中学生は 80%を超えています。
- 中学生の方が高校生より、身近な生活環境についての評価が高くなっており、特に、自然環境、道路環境、医療サービスの評価が高くなっています。

■下野市の住みやすさ（中学生）



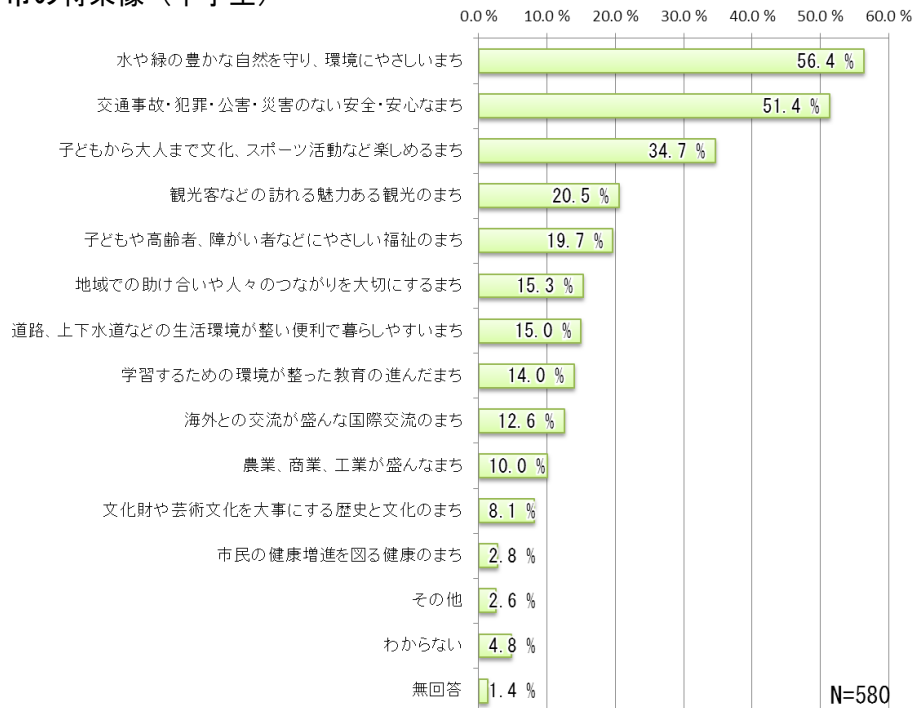
■下野市の住みやすさ（高校生・市内居住者）



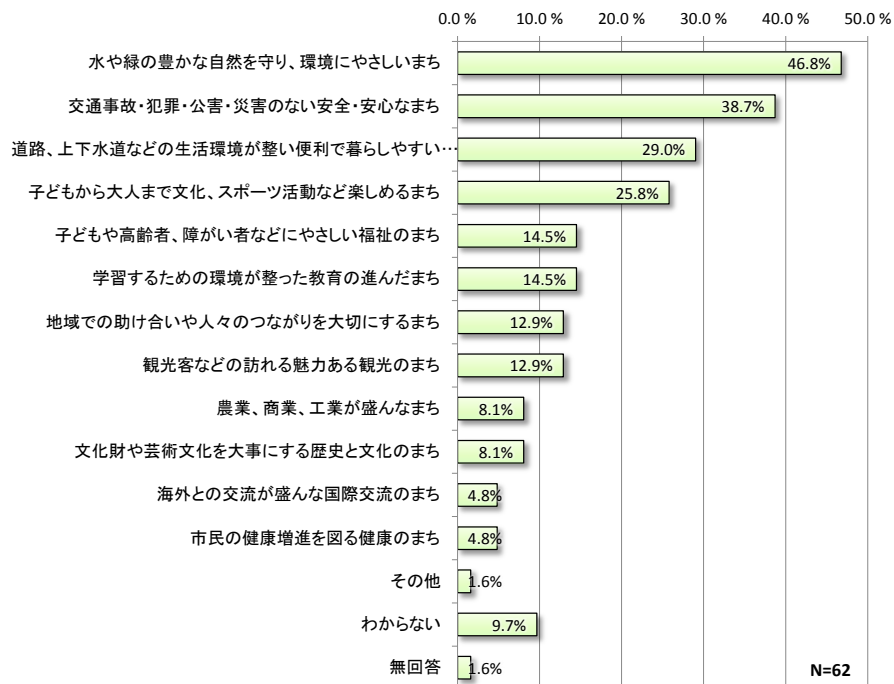
○下野市の将来像

- 中学生・高校生ともに最も多いのは「水や緑の豊かな自然を守り、環境にやさしいまち」、次いで「交通事故・犯罪・公害・災害のない安全・安心なまち」となっています。

■下野市の将来像（中学生）



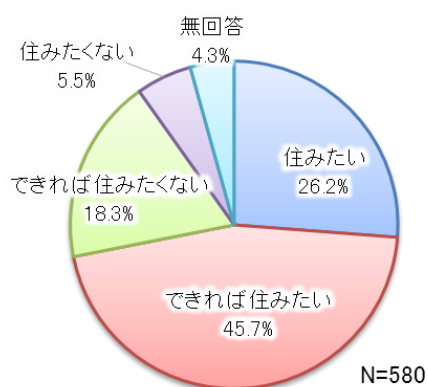
■下野市の将来像（高校生・市内居住者）



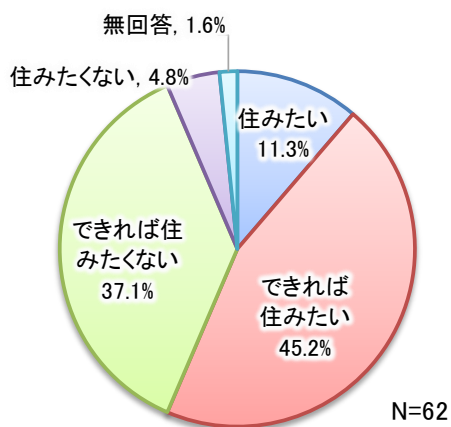
○下野市への居留意向

- 中学生の将来の居留意向は高くなっています（約70%）が、高校生になると将来の居留意向が減少しています（約25%）。
- 将来住みたくない理由として、他都市へのあこがれや雇用、交通の利便性に関するなどがあげられます。

■将来の下野市への居留意向（中学生）



■将来の下野市への居留意向（高校生・市内居住者）



3. 子ども未来プロジェクトの提案の概要 ※参考資料 11 を参照

子ども未来プロジェクトによる市の将来像の提案にあたっては、3つのグループに分かれ検討しました。各グループで市の特性と課題を共有した上で、2つのテーマを設定しました。テーマごとに将来像、方針、重点的な取組を提案しています。

【開催概要】

○開催経過

回	開催日	テーマ
第1回	平成26年9月22日(月)	まちのお宝マップ、弱みマップをつくろう!!
第2回	平成26年10月26日(日)	まちの将来像と取組を考えよう!!
第3回	平成26年11月22日(土)	提案書にまとめよう!!

○参加者：石橋中学校、国分寺中学校、南河内中学校、南河内第二中学校に在学する全27名(3回計のべ48名)

【提案書の主な内容】

グループ	テーマ	将来像	重点
A	交通・道路	誰もが安全に移動しやすい道路	「きれいな道」「安心して通りやすい道」「明るくて安全な道」の実現
	公園・緑地	公園を子どもから高齢者まで幅広く使えるようにする	「自然の中で遊べる公園」の実現
B	産業・観光	特産品を全国にPRしたい	「イベント・PR」の実現
	安心・安全	あかりが人を安心させる町	「明るく安全なまち」の実現
C	自然・環境	自然が多くきれいなまち	「ゴミが少ないまち」の実現
	産業・観光	観光施設が多いまち	「特産品をPRする」の実現



子ども未来プロジェクト ～中学生による6つの提案～

テーマ	将来像	方針	重点的な取組み（役割分担）		
Aグループ	提案① <u>交通・道路</u> 誰もが安全に移動しやすい道路	①きれいな道	みんな（地域・学校）でできること ○募金活動で街灯をつける ○何人かの集団で下校するようにする ○定期的なゴミ拾い活動（学校と地域の合同） など	家族でできること ○募金活動に参加 ○家の周りのゴミ拾い（各家庭で） ○袋を持ち歩いてゴミを捨てない など	自分一人で行えること ○各自の交通ルールの徹底 ○夜遅くに一人で出かけない ○ゴミを見かけたら拾う ○自分自身ゴミを捨てない など
		②広い道			
③安心して通りやすい道					
④明るくて安全な道					
提案② <u>公園・緑地</u> 公園を子どもから高齢者まで幅広く使えるようにする	①運動できる公園	みんな（地域・学校）でできること ○地域で花や木を植え育てる ○自然のものでできた遊具をつくる ○「自然」についてのポスターをつくり、みんなに知ってもらう など	家族でできること ○木々や草花を大切に ○家族でピクニックなどをする など	自分一人で行えること ○公園のゴミ拾い ○外で遊ぶ ○遊具の危険なところを見つけたら親や市に伝える など	
	②自然の中で遊べる公園				
	③花いっぱい・緑化				
Bグループ	提案③ <u>産業・観光</u> 特産品を全国にPRしたい	①集客施設	みんな（地域・学校）でできること ○学校の給食などで下野ブランドを出して、みんなに知ってもらう ○店・道の駅と連携して、PRをする ○総合学習で特産物などを調べるなど	家族でできること ○家族で道の駅に行き、下野ブランド（しもつけ丼）を食べる ○食べに行ったり、地元産のものをかう ○家族皆でフェイスブックに投稿など	自分一人で行えること ○口頭で友達や知り合いに伝える ○下野でブランドのことを話題に出す ○特産品をかう ○地元について関心を持つ など
		②イベント・PR			
提案④ <u>安心・安全</u> あかりが人を安心させるまち	①明るく安全なまち	みんな（地域・学校）でできること ○マップで危険が多い所に印をつける ○自治体で周辺をパトロールする制度をつくる ○LEDを使用する など	家族でできること ○お互いの行く場所や帰宅する時刻を伝える ○自治体の活動に参加をして、地域とのつながりを深める など	自分一人で行えること ○下校などでは、友達と一緒に帰る ○暗い夜道はたすきをつける ○各学校が蛍光色などでポスターを作り危険な場所に貼る など	
	②利用しやすい公園				
	③安全な道				
	④災害や事故に強いまち				
Cグループ	提案⑤ <u>自然・環境</u> 自然が多くきれいなまち	①ゴミが少ないまち	みんな（地域・学校）でできること ○ゴミ拾い活動を、地域・学校で行う ○冬は学校周辺の落ち葉はきをする ○学校の校庭だけではなく、学区内の除草を行う など	家族でできること ○家の周囲の清掃 ○町内の奉仕活動に参加する ○近所の人と協力して家の周囲のゴミ拾いを行う など	自分一人で行えること ○積極的にゴミ拾いへの参加 ○日頃、落ちているゴミを意識して、しっかり拾って生活する など
		②自然をPRする			
		③地域交流			
		④花いっぱい・緑化			
		⑤水がきれいなまち			
		⑥農業が栄えるまち			
提案⑥ <u>産業・観光</u> 観光施設が多いまち	①観光施設・観光スポット	みんな（地域・学校）でできること ○行事やお祭りのときに売る、広める ○学校で特産物を調べる機会を作る ○ゆるキャラグランプリでかんぴくんを1位・上位にする など	家族でできること ○実際に特産品名物を食べに行って、まわりに広める ○家の中での食事にも積極的に特産物を使ってみる など	自分一人で行えること ○まずは自分が食べて、友達や家族に広めていく ○特産品を使った料理を考え、周りの人に発信 など	
	②自然をPRする				
	③歴史をPRする				
	④特産品をPRする				

4. 市民懇談会の提案の概要 ※参考資料 12 を参照

市民懇談会では、「生活環境・地域社会」、「教育・文化」、「保健・福祉」、「産業・都市基盤」の4つのテーマに分けて、テーマごとの課題解決や子ども未来プロジェクトでの提案の実現に向けて、重点的な取組みを提案しています。

【開催概要】

回	開催日	テーマ	参加者数
第1回	平成27年1月25日(日)	施策を評価し、“強み”と“弱み”を共有しよう!!	21名
第2回	平成27年2月7日(土)	重点的な取組を提案しよう!!	17名
第3回	平成27年2月21日(土)	取組の役割分担を考えよう!!	20名

【提案の主な内容】

生活基盤・地域社会

強みを活かす 重点的な取組み	ヒューマンコミュニケーションの強化と良きキズナづくり
	自治会を核とした若さあふれるまちづくり
弱みを改善する 重点的な取組み	老若男女がつどえるサロンづくり
	向こう三軒両隣精神の復活 自治会の活性化 (隣に蔵が立つと腹がたつ、栃木県民性)



教育・文化

強みを活かす 重点的な取組み	国内外のより多くの地域との交流を図る。
	子どもの頃から、身の周りにある自然を観察し、保護する機会を増やす。
弱みを改善する 重点的な取組み	ボランティアの活用と普及・育成をする。
	芸術・文化の充実を図る。子どものときから、上質な芸術・文化に触れさせる。



保健・福祉

強みを活かす 重点的な取組み	箱物はあるが、自由度・管理の工夫要
	医療機関は充実しているがもっと地域とつながると更によい
弱みを改善する 重点的な取組み	人材の育成（地域と行政）
	様々な部門との横のつながりを充実させる、情報交換



産業・都市基盤

強みを活かす 重点的な取組み	農業や農産物を活かした観光づくり かんぴょうむき大会・外国人の体験ツアー
	医大生及び子ども未来プロジェクト（市内の子どもたち）を巻き込んだイベント（若者に下野市の良さを知ってもらう）
弱みを改善する 重点的な取組み	空き店舗をコミュニティの場にする 駅周辺の活性化（若者・高齢者）
	シャッター街を魅力あるお店づくり



5. 関係団体懇談会の提案の概要 ※参考資料 13 を参照

関係団体懇談会では、「産業・都市基盤」、「生活環境・地域社会」、「保健・福祉」、「教育・文化」の分野ごとに分かれ、分野ごとのまちづくり課題について、市民“生の声”を把握します。また、それらの課題に対して市民の自主的なまちづくり支援策を検討します。

【開催概要】

○テーマ：分野別の課題と協働まちづくり

○参加団体と開催経過

対象分野	団 体 名		開催日程	場所
保健 福祉	老人クラブ連合会 身体障害者福社会 民生委員児童委員協議会	食生活改善推進協議会 ボランティア連絡協議会	平成27年 1月17日（土）	ゆうゆう館・会議室
教育 文化	社会教育委員会 体育協会	P T A連絡協議会 青少年健全育成市民会議		
産業 都市基盤	認定農業者協議会 農村生活研究グループ協議会 石橋商工会	道の駅しもつけ 建設業協同組合		
生活環境 地域社会	人権擁護委員 自治会長連絡協議会 男女共同参画推進委員会	国際交流協会 しもつけ環境市民会議		

○開催内容

- ①各団体の活動内容と活動に関する課題
- ②各分野に係る取組の提案
- ③取組の推進にあたって団体の役割



【提案の主な内容】

生活基盤・地域社会

キーワード	まちの課題	取組の提案
若者の力、居場所	<ul style="list-style-type: none"> 若者の居場所が少ない 地域活動の担い手がいない リーダーの不足 等 	<ul style="list-style-type: none"> ブランドカフェの開催 シャッター通りに学生がやりたいお店を開く 等
環境（緑）	<ul style="list-style-type: none"> 平地林保全 環境美化の推進 等 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭菜園者の落葉堆肥作り 公民館でのガーデニング、まちづくり教室 等
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> コンパクトシティとしての魅力を活用 女性が働きやすい職場の環境づくり（育児休暇）等 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅地と農地の土地利用の見直し 3世代が住める環境づくり等
市民参画組織づくり	<ul style="list-style-type: none"> 市民提案を重視したまちづくり 女性の能力を引き出すことができる地域づくり 市民としての在住外国人に対する支援の不足等 	<ul style="list-style-type: none"> 女性リーダー育成講座を開催 在住外国人支援。通訳ボランティアバンク等
空家	<ul style="list-style-type: none"> 地区によって空家が増加 地域としての魅力度が低下等 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会で空家調査 条例や空家バンクの取組等

教育・文化

キーワード	まちの課題	取組の提案
人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> 人的資源の乏しさ 関係する組織内の人に時間的余裕がない 等 	<ul style="list-style-type: none"> 人材に関する定期的な情報交換の実施 等
子どもを取りまく社会環境	<ul style="list-style-type: none"> 人とのつながり、みんなで見ていく目や声が必要 安全なまちづくり 子ども会の参加率が低い 等 	<ul style="list-style-type: none"> 地域で朝のあいさつ 街灯や横断歩道の確認や直接の声 等
連携	<ul style="list-style-type: none"> 行政機関との連携に慣れていない 事業推進により関係する団体との連携がうまく行かない 等 	<ul style="list-style-type: none"> 団体・組織の定期的連携会議の実施 等
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 知りたい情報にたどりつかない どこにどのような活動があるか把握できていない 等 	<ul style="list-style-type: none"> 市広報紙をもっと簡易化する 地域の歴史を知る。等

保健・福祉

キーワード	まちの課題	取組の提案
周知情報	<ul style="list-style-type: none"> 福祉に関する問題の認識不足 市民が何を考えているかを知って欲しい 等 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の声を伝えるためのポストなどを設置 等
関心	<ul style="list-style-type: none"> 福祉行政に対する市民の関心を知らない 等 	<ul style="list-style-type: none"> 市と団体の共催事業として市民に関心を持ってもらう 等
移動	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化が進み、交通の便が悪い レクリエーションに行くにも乗り物に不便がある 等 	<ul style="list-style-type: none"> 市の行事に参加する際の移動支援（デマンドバス等）等
連携	<ul style="list-style-type: none"> 各種活動・行事の人数調整 等 	<ul style="list-style-type: none"> 各団体との相互支援 事業を単独でなく、2～3の団体で行う 等
地域の安心	<ul style="list-style-type: none"> 地域で安心して生活できる環境づくり 等 	<ul style="list-style-type: none"> 地域との交流 スポーツ等で交流を深める 公民館の清掃や行事に参加等
若い人の参画	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が増えて、若い方への育成が思うようにいかない 等 	<ul style="list-style-type: none"> 学校との協力

産業・都市基盤

キーワード	まちの課題	取組の提案
まとまり、一体感	<ul style="list-style-type: none"> 3町合併後のまとまりが不足 等 	<ul style="list-style-type: none"> 全体の集いを開く 市の活動を多くし互いに話し合う場を増やす 等
資源	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的に良い場所・資料をもっと積極的に紹介して欲しい グリムを意識した施設が点在 等 	<ul style="list-style-type: none"> 生産量日本一のかんぴょうの新商品の開発 歴史的建造物の再現 等
PR	<ul style="list-style-type: none"> PR 不足 	<ul style="list-style-type: none"> PR サイトや SNS で積極的な情報発信 道の駅で定期的な PR 活動等
自然災害	<ul style="list-style-type: none"> 農業は天候に左右されやすい（雪害など） 等 	<ul style="list-style-type: none"> 出荷者に対する見舞金補助金の制度確立 防災施設の充実 等
体制	<ul style="list-style-type: none"> 後継者不足 農産物出荷者の高齢化 等 	<ul style="list-style-type: none"> Iターン、Uターンの誘致政策 インターンシップの活用 等
社会、経済、情勢	<ul style="list-style-type: none"> 飲食等のサービス業が弱い 米価が安くなっている 駅前商店街の疲弊 等 	<ul style="list-style-type: none"> 食味のよい米を作り PR 新規創業者への支援 若手経営者を集めてアイデアを出す 等
市民の理解	<ul style="list-style-type: none"> 公共工事の施行に対する住民の理解不足 等 	<ul style="list-style-type: none"> 市から広報で周知 等